



皆様、おはようございます。学校法人シモゾノ学園、理事長の下園恵子でございます。よろしく願い申し上げます。

本日はこのような発言の場を与えていただきまして、本当に感謝申し上げます。私は専門学校におけます動物看護職の養成教育についてお話を申し上げたいと思います。



【スライド1】

まず初めに2枚のスライドをごらんいただきたいと思います。これは皆様も御存じのとおり、高齢者に対するアニマルセラピーの風景でございます。続きまして、次も同じなのですが、左側がハワイにありますアーミーホスピタルにおけます活動を見学させていただいたときの写真で、右側の方は、前肢がなく産まれてきたわんちゃんが、寿命がもたないのではないかと考えていたところ、後肢だけで歩き元気に生きて、今はその姿にヒトが勇気



【スライド2】

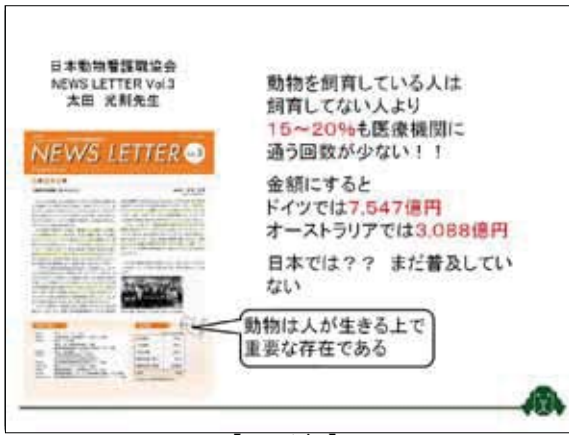


【スライド3】

づけられている記事です。これは何を申し上げたいかというと、私どもの学生は卒業し看護を仕事としていこうという方たちで、動物を守るといふすばらしい志を持って日々努力してくれていますが、動物からの恩恵がいかに深いかもきちんと心においたうえで、動物を救う・護ることを見つめて行きたいと思っております。

【スライド2】【スライド3】





【スライド 4】

折しも日本動物看護職協会の方からニュースレターが届きまして、太田副会長のコメントの中にやはり同じようなことが書いてありました。動物を飼育している人は飼育していない人よりも寿命が長く、そして医療にかかることも少ないという結果が紹介されていました。それは動物の存在は、人間が生きる上で最も重要な存在であるのではないかということが、折しも書かれていたので、大感激して載せさせていただきました。【スライド 4】



【スライド 5】

改めまして、私ども学園を御紹介させていただきますが、東京の世田谷と埼玉県大宮に2校ございます。東京校に関しましては、特に動物理学療法も学ぶ学科を設けております。動物看護だけではなくてトリマー、そして動物園等の飼育員を目指す学科、またトレーナーを目指す学科、すべての動物に携わる職業を養成している専門学校でございます。【スライド 5】

先ほどから第1部の方で先生方の発表にありましたので、動物看護職の仕事のスライドは省略させていただきますが、本当に私どもの養成します動物看護の仕事は多岐にわたって動物医療には必要性がある、やりがいのある仕事であるというふうに思います。

とりわけ看護職の高度な教育について池本先生からとてもすばらしい御発表があったので、私どもは専門学校ですけれども、関係の大学も結構ふえている状況は、動



【スライド 6】

	獣医師の役割	動物看護職の役割
■検査		・看護補助(検査の準備)
■診察	・診察、診断	・保定、補助
■治療	・治療計画、実施	・保定、補助
■管理		・受診、病後管理(動物のケア)
■評価	・病状評価	・評価(動物の病状の経過) ・病状の観察、記録(動物のケア) ・生活の質、栄養管理 ・自立生活、社会復帰の支援 ・自立生活、社会復帰の支援 ・動物のケア、管理
■理学療法	・治療方針	・リハビリテーション(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア)
■完治	動物看護職の役割(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア) ・動物のケア(動物のケア)	

【スライド 7】



【スライド 8】

物看護の発展には促進できるというふうには思います。では、専門学校の教育の特色や役割はどのようなことを改めて確認してみたいと思います。

【スライド 6】【スライド 7】【スライド 8】

大学は学術研究を行う教育の場であり、幅広い知識を学び、そして研究するということが非常にウエートが大きいのかなと私は理解しているのですが、専門学校では即戦力となるべく専門的な知識と実践的な技術の取得をする養成機関であると思います。【スライド 9】

シモゾノ学園の卒業生像をご紹介します。

上の青でまとめてあるところは、看護職としての専門的なチカラ、また赤のところは動物に携わるプロフェッ

■ 大学と専門学校の役割

	大学	専門学校
目的・目標	学術の中心として幅広い知識を学ぶ 専門の学芸を深く研究し、探求する	専門の学芸を学び、探求する 職業として必要な能力を修得する
教育資格	獣医師又は動物看護士を専攻した 研究活動に於ける看護学究者に寄与する	獣医師又は動物看護士を専攻した 看護職の職域に於ける職能・精通
施設・設備	大学設置基準	専修(専門学校)設置基準



【スライド9】

シヨナルとして必要なチカラ、深緑のところは社会人として必要な資質です。3色にわけましたが、それぞれ非常に大事なチカラですが、やはり近年大多数の就職先よりお聞きする必要な力が、物おじせずに人前で話ができる人間能力であったり、コミュニケーション能力であったり、また接客などにあたって品格を身につけてほしいというお声を聞きます。

もちろん専門的な能力には確実な養成が必須ですし、更に高度な動物医療の看護のチカラも重要視されるでしょう。赤のところ、これは動物職業人としてやはり最重要教育内容として強化をしていくべきことだと私は理解しています。やはり先ほどからのお話にありますとおり、きょうの会議の議題でありますアニマルウエルフェア・動物福祉をしっかりと理解して、そしてまたみずからの行動をもって普及していく、このことも太田先生の記事の中にありました、人と動物の関係学がとても大事で、それをしっかりと理解して広げていく、私どもの教育の目指す方向は本当に全く間違えていないんだなということを、またここで確信をさせていただいた次第です。と申しましても、やはり専門的なところ、これは大事な動物と関われるチカラになります。一般教養科目も含めて動物看護学科のカリキュラムの一部を紹介させていただきます。専門学校という設置基準の中に800時間以上の教



育時間ということがございます。これにつきましては教育機関2年間で教育をさせていただいております。

A B t B /B_ B :: C>: : A

■ シモム/学園 「動物看護学科」卒業生像

- 動物に関わる動物の看護学と看護技術を修得している
動物の、検査、保定、手術、給水、受妊、飼育管理
- 動物に関する社会衛生(予防衛生)、人畜共通感染症、衛生管理の知識と技術を修得している
- 看護計画、看護力が作成できる
- 大動物に関わる獣医的な知識(解剖学、生理学、行動学)と技術を修得している
- アニマルウェルフェア(動物福祉)をしっかりと理解し実践できる
- 自らの活動を通して動物福祉を関心のある人たちに啓蒙できる
- 動物に対する人前で話ができるコミュニケーション、プレゼン能力を身につけている
- 社会人としてのマナー、敬語、接客、リポートを身につけている

A B t B /BB :: A

NEWS LETTER

日本動物看護協会
NEWS LETTER Vol.3
太田 光則先生

「ヒトと動物の関係学」

「動物から人の健康への影響」
アニマルセラピーなどの効果

「人と動物の共生」
ヒト社会で動物がストレス無く生きているか
(動物福祉を实践できているか)

A B t B /BB :: A

■ 動物看護学科のカリキュラム ～一部について説明

【一般教養】	【専門科目】	【専門科目】科目別詳細
英語Ⅰ、Ⅱ 現代文 倫理 政治学 社会学 動物学 動物解剖学 動物生理学 動物薬理学 動物看護学 動物看護実習Ⅰ 動物看護実習Ⅱ 動物看護実習Ⅲ 動物看護実習Ⅳ 動物看護実習Ⅴ 動物看護実習Ⅵ 動物看護実習Ⅶ 動物看護実習Ⅷ 動物看護実習Ⅷ 動物看護実習Ⅷ	動物学 動物解剖学 動物生理学 動物薬理学 動物看護学 動物看護実習Ⅰ 動物看護実習Ⅱ 動物看護実習Ⅲ 動物看護実習Ⅳ 動物看護実習Ⅴ 動物看護実習Ⅵ 動物看護実習Ⅶ 動物看護実習Ⅷ 動物看護実習Ⅷ 動物看護実習Ⅷ	動物学 動物解剖学 動物生理学 動物薬理学 動物看護学 動物看護実習Ⅰ 動物看護実習Ⅱ 動物看護実習Ⅲ 動物看護実習Ⅳ 動物看護実習Ⅴ 動物看護実習Ⅵ 動物看護実習Ⅶ 動物看護実習Ⅷ 動物看護実習Ⅷ 動物看護実習Ⅷ





A B t B /BB :: A

それでは、動物に携わる職業人・動物看護職はこのような知識や技術の習得だけでいいのかといいますと、勿論これはとても大事で絶対的に必要なんですけれども、それだけではないと私は思っています。動物からのメッセージを酌み取れる、SOSの分かるヒトこれはもう知識の習得だけではなくて、感性に近い力だと思うのです。それは、どのように身につけられるんだろうかということ、動物とより多く触れ合うことによって、動物から学んでいくことが非常に大きいんじゃないかなというふうに

動物を理解できるチカラとして
知識・技術の修得

動物からのメッセージをくみ取れるチカラ
動物と より 多く触れ合い

 <動物から教わる> 

【スライド 13】

お散歩



【スライド 14】

犬舎



【スライド 15】

美容実習



【スライド 16】

思っています。……これは……勉強にも入りますけれども、そんなこともあります。【スライド 13～15】

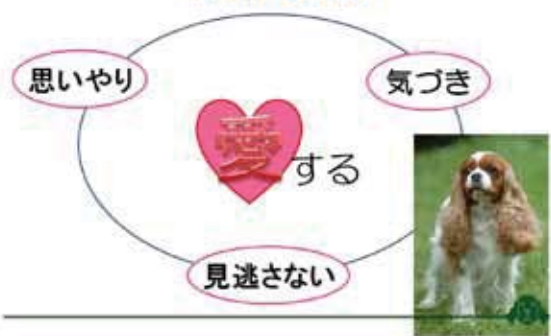
今、やはり高齢犬が多くなってきていたり、動物病院が美容のサービスを行っていたり、そういった経営管理をしっかりといらっしゃるところが非常に多いので、求人の中にはトリミングの能力のある看護師さん希望という声が非常に多いです。私どもは美容実習を最初から入れておりました。と申しますのは、医療の技術を身につけるといことも大事なのですが、一方で美容の実技実習は、1頭のわんちゃんに対して、大体短くて3時間、1日のうちにかかわっているんですね。そういうことによって、動物から学ぶことができるとても大事な実習と理解しています。【スライド 16】

スキンシップ



【スライド 17】

動物に関わるプロ
動物看護職



【スライド 18】

動物看護職に必要なもの、豊富な知識であったり、技術であったりと思いますが、やはり一番は思いやる心というのがとても大事になります。愛することによって思いやる心、たくさん思いやった上で動物からもいろいろな気づき、また動物からのメッセージ、や変化を見逃さないこと、これはとてもとても大切なチカラであると私は理解しております。【スライド 17】【スライド 18】

最後に、この右の写真は、私の娘が本当にこよなく愛して一緒に生活をしていました、わんちゃんなのですが、昨年悲しい別れがありました。旅立ってしまったのです



【スライド 19】

けれども、そのときに非常に適切な治療を受けることができました。獣医師さんには適切な医療を施して頂き、看護師さんが温かくこの子を見てくださいました。最期は、きれいにブラッシングしてリボンをつけてくださいました。やはりこういったことが、飼い主さんに対する心配りというふうに思っています。こんな力を持った動物看護師たちをこれからも育成していくこと、またいろいろな資格やカリキュラムの統一の課題がありますが、関係する方々と協力・連携し合って、望ましい方向へ向かえます事よう、そして、社会のニーズ・動物医療現場のニーズに即した教育を提供していくことに、努力していきたいと思っております。今後とも御指導よろしくお願ひ申し上げます。御清聴ありがとうございました。

